

編集後記

「核融合はいつ出来るんですか？」親類のオバサンにもきかれるようになりました。商用核融合発電所が実用化され、「おじいさんはね、若いころ核融合の研究をやっていたんだ」と孫に話す日を夢見て間もなく四半世紀。あと50年かかったのでは間に合わない。

一方で世の中の動きは速い。夏到北京へ行ってきました。女の子たちのケータイは日本のより小型に見えました。男の子たちにはワードやエクセルの走る多機能電話が人気でした。電子手帳ぐらいのちょっと大きめのサイズで、機能的にもポケットコンピュータのようですが、電話器なのでそのまま耳に当てて通話ができます。残念ながら日本製はほとんど見かけませんでした。中国は総台数1億2千万で世界一のケータイ大国、間もなく日本

の総人口を超えます。店頭では「世界につながる、世界で使える」と宣伝していました。GSM方式だから番号そのままヨーロッパで使えても不思議ではありません。北米方式とのデュアルバンド機なら確かに世界中で使えます（ただし日本を除く）。

エネルギー資源の乏しい我が国としては、核融合こそが将来の基幹となるべきエネルギー源であり、日本こそが主体的に核融合開発を進めていくべきと考えます。従って日本ほどにはエネルギーに対する危機感を持たない国々とは戦略的に異なる面があっても当然だと思います。でももし“(ただし日本を除く)”になると、ちょっとまづいかもしいれない。

(松嶋 功)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	井上 信幸	副 会 長	伊藤 智之 佐藤 徳芳	常務理事	上村 鉄雄(総務委員長)
理 事	安積 正史(プログラム委員長) 河合 良信(出版委員長) 永見 正幸(広告委員長) 松井 秀樹	井岡 茂 香山 晃 西原 功修 矢部 孝	岡崎 隆司(財務委員長) 田辺 哲朗 日野 友明(企画委員長)	小川 雄一(編集委員長) 長 照二 藤原 正巳	
監 事	西田 靖	山中 芳宣			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 小川雄一(東大高温プラ)

エディター 岡本正雄(核融合研), 菅井秀郎(名大), 岡子秀樹(九大応力研), 関 昌弘(原研), 田中雅慶(核融合研), 西村博明(阪大レーザー研)

編集委員 赤石憲也(核融合研), 沖野晃俊(東工大), 小椋 一夫(新潟大), 河内哲哉(原研), 久保 伸(核融合研), 後藤純孝(日立), 齊藤輝雄(筑波大), 坂本瑞樹(九大応力研), 佐藤徳芳, 新谷吉郎(東芝), 高橋 努(日大), 高畑 一也(核融合研), 高部英明(阪大レーザー), 田中謙治(核融合研), 田辺哲朗(名大), 津島 晴(横浜国大), 樋田美栄子(名大理), 藤堂 泰(核融合研), 中村圭二(中部大工), 長谷川 満(三菱), 濱松清隆(原研), 福本直之(姫路工大), 政宗貞男(京都工繊大), 松井秀樹(東北大), 松嶋 功(産総研), 水内 亨(京大エネ研), 村上 泉(核融合研), 矢部 孝(東工大), 吉村信次(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第77巻第12号

編集・発行

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目20-20 7階
社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会
Tel. 052-231-4535 Fax. 052-231-7557

印 刷 株式会社荒川印刷
2001年(平成13年)12月25日

E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL: <http://jspf.nifs.ac.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1火曜日に開かれています。但し、第1火曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の火曜日に開かれます。

小特集関連投稿論文募集

プラズマ・核融合学会誌編集委員会では、以下のテーマでの小特集を企画しています。つきましては、小特集のテーマに関連する一般投稿論文(研究論文, レター, レビュー論文, 研究開発ノート, 技術開発ニュース, 技術報告・技術資料)を募集いたします。この機会に、是非とも積極的な投稿をお願いいたします。なお、ご投稿にあたりまして、投稿論文が小特集関連論文であることを、投稿票に明示いただくようお願いいたします。ご不明な点に関しましては、下記学会事務局までお問い合わせください。

掲載予定号	テーマ	原稿締切
第78巻 第5号, 6号	粒子ビーム技術とその応用	2002年1月31日
第78巻 第7号	プラズマを用いた超高感度元素分析	2002年2月28日
第78巻 第8号	偏光プラズマ分光	2002年3月31日
以降決定次第, 発表します。		

問合せ先 : 〒 460 - 0003

名古屋市中区錦 2 - 20 - 20 - 7F

プラズマ・核融合学会 事務局

Tel: 052 - 231 - 4535

Fax: 052 - 231 - 7557

E-mail: jspf@nifs.ac.jp

<http://jspf.nifs.ac.jp/>

あなたのご要望には、
私たちがお応えします。

営業内容

ソフトウェア開発
ネットワークシステムの構築・運用
OA機器・情報機器の販売
人材派遣
各種印刷・ホームページの作成等



株式会社 原子力資料サービス
ATOMIC ENERGY GENERAL SERVICES CORPORATION

本社 / 〒319-1111 茨城県那珂郡東海村舟石川573-43
TEL 029(287)2277 FAX 029(287)2284

情報サービス / 〒319-1111 茨城県那珂郡東海村舟石川800-12
センター TEL 029(282)8500 FAX 029(283)2498

東海研事務所 / 〒319-1106 茨城県那珂郡東海村白方白根2-4
(日本原子力研究所内) TEL 029(282)9700 FAX 029(282)3984

研究論文, レター, レビュー論文, 研究開発ノート 投稿案内

1. 研究論文・レター・レビュー論文は著者の原著であって、未発表のもの。査読を行う。研究開発ノートの内容は著者の責任とし、査読は行わない。
2. 用語は研究論文・レビュー論文については日本語もしくは英語とし、レターは英語とする。ただしいずれも図・表及びその説明の表記は英語で行う。
3. 表題、著者名、所属名に英訳をつけ、さらに英語の要旨、5～10語程度のキーワード(英語)を、原稿とともに提出する。
4. 文献は本文の後ろに別のページにまとめる。文中では[1, 2, 3]あるいは[4-6]などの番号を文末につける。
5. 図、表、写真、参考文献には通し番号をつける。
6. 投稿原稿は、投稿票・論文分類表とともにコピー2部添付のうえ、下記宛に郵送すること。同時に、論文の表題、著者名、研究場所、要旨および該当する論文分類番号をテキストファイルにより、電子メールで学会に送付すること。

〒460-0003 名古屋市中区錦2-20-20 7F

社団法人プラズマ・核融合学会編集委員会

Tel (052)231-4535, Fax (052)231-7557, E-mail:jspf@nifs.ac.jp

(注1) 詳細については「プラズマ・核融合学会誌投稿規定」(URL:<http://jspf.nifs.ac.jp>)を参照してください。投稿規定、投稿票、論文分類表は請求あり次第送付します。

(注2) 定例編集委員会開催：毎月第1火曜日